

令和元年度「わか杉っ子！育ちと学びステップアップ事業」 事業実績報告書(男鹿市)

1 教育・保育の現状と課題

市の教育・保育の課題
(1) 教育・保育アドバイザーの継続的な支援のもと、保育者の研修意欲の高揚を発展させ、就学前教育・保育の推進体制を定着させていくことが課題である。
(2) 市教育委員会指導主事と教育・保育アドバイザーの連携による接続を見通した教育課程の編集を目指し、接続期の質の高い教育・保育体制の充実・強化が必要である。

2 目的、重点、実施内容

目的(3年間)
<ul style="list-style-type: none"> 教育・保育アドバイザーが継続的に園への巡回訪問及び助言を行い、保育の質の向上を図る。 教育・保育の専門家を活用した研修会等の実施により、キャリアステージに応じた人材育成を目指す。 小学校への円滑な接続に関する研修会・事業の拡大を実現する。
重点(令和元年度)
公開保育研修会等による地域で学び合う体制づくり（近隣の小学校や近隣市町村への研修会の提供）、キャリア別研修などにより、人材育成や保育者の専門性の向上を図る。
実施内容(令和元年度)
<ul style="list-style-type: none"> (1) 教育・保育アドバイザーの配置 (2) 市内就学前施設への巡回指導・助言 (3) 市内就学前施設等の職員研修会の実施 (4) 公開保育研修会の実施を核とした学び合う体制づくり (5) 県との連携体制の活用

3 令和元年度の実施状況


(1)教育・保育アドバイザーの配置

◇教育・保育アドバイザーの施設訪問状況(平成31年4月～令和2年3月)							
	幼稚園	うち、幼稚園型 認定こども園	幼保連携型 認定こども園	保育所	うち、保育所型 認定こども園	※その他 保育施設	小学校
施設・校数	2 園	0 園	0 園	7 か所	1 園	1 か所	6 校
訪問施設・ 校数	2 園	0 園	0 園	7 か所	1 園	1 か所	0 校
訪問回数	18 回	0 回	0 回	77 回	12 回	1 回	0 回
月平均 訪問回数	2 回	0 回	0 回	8.5 回	1.3 回	0.1 回	0 回
* 事業所内保育施設 1 か所							
目的	市に教育・保育アドバイザーを配置し、各就学前施設の問題解決に向けた継続的な支援と、県の教育・保育アドバイザーと連携しながら、問題解決に向けた方策を探る。						
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 教育・保育アドバイザーは2名の募集をしたが、1名配置で全施設を巡回指導、職員個別面談、指導助言などを行った。 過去事業において経験のある教育・保育アドバイザーであったことから事業開始直後からスムーズに園訪問を行うことが出来た。 						


(2)教育・保育アドバイザーによる市内就学前施設の巡回指導・助言

<p>目的</p>	<p>教育・保育アドバイザーによる訪問指導、園内研修の支援、ミドルリーダーの育成、保育者の面談によるきめ細かな指導・助言を行う。</p>
<p>実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・過去3年の事業の成果もあり、園側でも教育・保育アドバイザーから指導助言を受け体制が出来ていた。 ・園内研修への参加依頼が増え、継続的に変容をみることができた。 ・要請訪問の指導案の指導についても園からの要望により数回訪問を行い、きめ細かい指導ができた。

(3)市内就学前施設等の職員研修会の実施

<p>目的</p>	<p>キャリア別研修などにより、人材育成や保育者の専門性の向上を図る。各施設の課題の共有及び解決への過程を県指導主事、県教育保育アドバイザーと連携し、継続的に導いていく。</p>
<p>実施状況</p>	<p>●第1回男鹿市保育実践力向上研修会 演題：「小学校接続への円滑な接続の在り方について」 ～小学校スムーズスタート大作戦～ 講師：男鹿市教育委員会 学校教育課 指導主事 秋山真貴子氏 開催日：令和元年10月12日（土） 会場：ふれあいプラザハートピア 参加者：56名（保育士、幼稚園教諭、小学校関係者等） 【アンケート調査結果】 研修内容について（満足 93.6%） やや満足（2.1%） 不満（0%） 未記入（4.3%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学までの流れや特別支援学級の配置、指定学校、ことばの検査、通級教室等について具体的に知ることができた。 ・自分たちがやっていることが間違っていないということが確認できた。 ・今も保育で大切にしていることはずっと大切だと知ることができた。  <p style="text-align: center;">市主催幼保小合同の研修会 （男鹿市ふれあいプラザハートピア）</p> <p>●第2回男鹿市保育実践力向上研修会【キャリア別】 演題：「園の中核をなすミドルリーダーの役割を考える」 講師：秋田県教育庁幼保推進課 指導主事 佐藤伸剛氏 開催日：令和元年11月8日（火） 会場：脇本公民館 参加者：19名（保育士、幼稚園教諭） 【アンケート調査結果】 研修内容について（満足 78.9%） やや満足（15.8%） 不満（0%） 未記入（5.3%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミドルリーダーの意味、役割を考えるよい機会となった。 ・リーダーという言葉に少し重圧を感じていたが、普段の職員の関わり方や意識の持ち方だとわかり、少し肩の荷が軽くなった。 ・園全体の風通しが良くなるような、自分の位置や役割を確認しながらの保育を心がけたい。 ・フリートークの時間で他園の様子や悩みなどを聞くことができた。自分も頑張ろうと励まされた。

(4) 公開保育研修会を核とした学び合う体制づくり

<p>目的</p>	<p>市内就学前施設の公開保育により、各園の良さや課題を明確化するとともに、施設間の交流体制を作る。また、市内施設、小学校、及び近隣市町村と地域で学び合う体制を構築する。</p>	
<p>実施状況</p>	<p>① 公開保育研究協議会（男鹿市立北浦保育園） 開催日：令和元年9月5日（木） 参加：19人（市内幼稚園教諭・保育士、小学校教諭、市指導主事、担当課職員）</p> <p>② 公開保育研究協議会（男鹿市立船越保育園） 開催日：令和元年9月27日（金） 参加：37人（市内幼稚園教諭・保育士、小学校教諭、市指導主事、市外教育 保育関係者、担当課職員）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;"> <p>近隣施設、近隣市町村に参加を呼びかけ地域で学び合う研修会の実現（男鹿市船越保育園）</p> </div> <p>③ 公開保育研究協議会（男鹿市立若美幼稚園） 開催日：令和元年11月14日（木） 参加：17人（市内幼稚園教諭・保育士、小学校教諭、市指導主事、担当課職員）</p>	

(5) 県との連携体制の活用

<p>目的</p>	<p>県の幼児教育推進協議会、県主催の研修、教育・保育アドバイザー連絡協議会に参加し、教育・保育アドバイザーの質の向上を図るとともに、地域での教育・保育推進の支援、情報共有、活動を円滑に行う。</p>	
<p>実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市教育・保育アドバイザーが要請訪問に向け事前に園内研修に参加して、当日の進め方の相談を受けた。また事後研修で、課題への取り組みの具体を実践していくための相談にのった。園の変容を指導主事と共有することで、要請訪問が一日だけの研修に終わらないように継続することができた。 ・要請訪問で指導を受けたことをふまえて園内で改善に向けた実践を行ったことを県指導主事と情報共有して事後研修につなげることができた。 ・新しい研修内容や保育実践の学びの場になり、園訪問に活かすことができた。 ・県教育・保育アドバイザーに園訪問に同行してもらうことで、市内全園の状況を共有することができた。 	

4 事業の成果及び今後の課題、改善の方策

(1) 教育・保育アドバイザーの配置

<p>成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1名の配置ではあったが、経験者の配置によりアドバイザー自身が研修成果や経験をもとに指導助言を行うことができた。 ・さらにステップアップし、保育のねらい、保育者の意図的な関わりや環境構成等を考えていけるような振り返りができるよう支援をした。 ・保育士個々の悩みに寄り添い、保育士の不安感の解消を図った。 	
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市教育・保育アドバイザーは一人体制であったため、客観的な見方を心がけてきたが、アドバイザー自身に個人の保育の見方や研修への支援が偏っていないかという不安があった。 	
<p>改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育・保育アドバイザーの人材確保に努め、複数配置により事業を実施する。 ・保育の見方など偏りのないよう県教育・保育アドバイザーの指導を受ける。 ・県研修等への参加を継続する。 	

(2)教育・保育アドバイザーによる市内就学前施設の巡回指導・助言

成果	<ul style="list-style-type: none"> 全施設、月1回以上の巡回指導を通して、保育参観・個別面談・園内研修など園や個別のニーズに応じた支援ができた。今年度は保育の振り返りと週日案の記入を考えることに力を入れて取り組み、保育のねらい、意図的な関わり、環境の構成などを保育者自身が考えていけるような支援をし、必要に応じて振り返りシートの活用をした。 年間の園内研修計画に、アドバイザーの訪問を組み込み、年間を通した研修への参加依頼が増えた。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 園によって研修への参加数に大きく差が出たことから、園からの依頼に応えるだけでなく、積極的な働きかけも必要であった。また、研修内容への支援について、どのような関わりができるか課題である。
改善	<ul style="list-style-type: none"> 年間のおおよその訪問計画を立てる中に、保育参観と振り返り、園内研修参加を計画する。

(3)市内就学前施設等の職員研修会の実施

成果	<ul style="list-style-type: none"> 幼保小接続をテーマとした研修の講師も市教育委員会指導主事を依頼し、協議を重ねながら市教育委員会とも幼小接続について理解を深めた。 研修参加者が自身の保育を振り返りながら0歳児から小学校へ繋がっていくことを改めて考える機会になり、目の前の子どもの生活を大事に幼小接続していこうという気付きに繋がった。 ミドルリーダー研修を実施しキャリア別に学びの機会を作った。同じ立場の職員同士が学びあう場を作ったことは好評で他園の職員との情報交換の場では、同じ悩みなどを話し合うことができたことで、安心感と次の意欲につなげることができた。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 順次キャリアに応じた研修の実施とその内容の検討が必要である。 研修対象職員であっても大きな園では全員参加が難しいことから、平等な学びの場の確保が必要である。 園によって研修への参加数に大きく差が出たことから、園からの依頼に応えるだけでなく、こちらからの積極的な働きかけも必要だった。また研修内容への支援について、どのような関わりができるか課題である。 小学校からの参加もあったがクラスを担当している先生達の参加がもっと増え、意見交換などができることさらに有意義な会になっていくのではないかな。
改善	<ul style="list-style-type: none"> 園のニーズに応じた研修テーマを検討する。 公開保育やその他研修計画を、教育委員会を通して小学校へ通知する。 幼小接続については交流を実施している園もあるため、市教育委員会との連携をより充実させ、接続に関する意識を共に持てる場を作る。

(4)公開保育研修会の実施を核とした学び合う体制づくり

成果	<ul style="list-style-type: none"> 今年度3園が公開保育と研修を実施した。園が主体となって研修を進め、市内外の就学前施設、市内の小学校と参加者が少しずつ広がった。 公開保育への参加により保育士が互いに学び合うことができた。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 公開保育への小学校教職員の参加が課題である。
改善	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会の理解を得ながら小学校1年生の担任と共に学習する機会を作る。 各園と各小学校で行われている保幼小連絡会議等の充実を図る。

(5) 県との連携体制の活用

<p>成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> 要請訪問に同行し、保育の振返りの仕方や要点を押さえた指導・助言を学ぶことができた。その後の訪問で園や保育者自身が保育改善に取り組む姿を見ることができ、継続的な関わりができた。 訪問を通しての取り組みや悩み等を、指導主事や県のアドバイザーに相談に乗ってもらうことで、背中を押してもらえた。 アドバイザー連絡協議会での保育参観や演習など、学びにつながった。
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> 要請訪問に同行する際、アドバイザーとしての参加がどこまでか迷った。 事前の指導案の検討や研修の進め方などについて、園により違いがあり、具体的なことをしっかり共有できれば良かった。
<p>改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> 県アドバイザーの指導・助言を受ける機会をさらに活用する。 県から他市のアドバイザーの取り組みの様子を参観したり、公開保育へ参加したりできる機会を作っていただき、市アドバイザーがさらに園訪問に活かしていく。

5 令和2年度の事業の構想

<p>目的</p>
<p>公開保育研修会等による地域で学び合う体制づくりを継続して実施する。 小学校教育への円滑な接続に向けた研修の充実と教育課程の編集・実施。</p>
<p>実施内容</p>
<p>(1) 教育・保育アドバイザーの配置</p> <ul style="list-style-type: none"> 円滑な幼保小接続のための就学前教育の質的向上をはかるため、市内就学前施設への巡回指導・助言を実施する。 市内就学前施設等の職員研修会、公開保育研究会において、指導助言を行う。 教育委員会学校教育課指導主事等と接続を見通した教育課程の編成、実施に向けた意見交換などの連携を充実する。 <p>(2) 教育・保育アドバイザーによる市内就学前施設への指導・助言</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育保育アドバイザーによる公私立幼稚園、保育園等の訪問指導により、各園の保育指導、園内研修の支援、研修リーダーの育成、保育者の面談によるきめ細かな指導助言を行う。 <p>(3) 市内就学前施設等の職員研修会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ミドルリーダー研修、新任者研修、担任研修などの研修により、保育者の専門性の向上、各施設の課題の共有及び解決への過程を秋田県指導主事、秋田県教育・保育アドバイザーと連携し継続的に導いていく。 <p>(4) 公開保育研修会の実施を核とした学び合う体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内就学前施設の保育公開により、各園の課題を明確化し、施設間での交流体制をつくることにより、市内施設、小学校、及び近隣市町村との地域で学び合う体制を推進する。 <p>(5) 県との連携体制の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 秋田県の協議会、研修会、連絡会に参加し、県指導主事、県教育・保育アドバイザーとの支援、連携体制のもと、アドバイザーの質の向上、研修により、地域での教育保育体制の支援、情報共有、活動を円滑に行う。